

平成29年度 事業報告

【概況】

29年度は荒尾市においても「地域包括ケアシステム」の実現に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業がスタートしました。本会においても、生活支援コーディネーターが利用者と登録ボランティアをコーディネートする、住民参加型福祉サービス（生活支援ボランティア）を8月から開始しました。また、地域のささえあい活動については、これに取り組んでいただいている実施者同士の交流会を開催し、相互の取り組みについての情報交換と、活動内容のさらなる充実のための支援を行いました。

年々利用者が増加している地域福祉権利擁護事業については、利用者が安心して自宅で生活が送れるように、継続的に支援を行っています。28年度体制を整備した成年後見制度における法人後見事業についても、29年度は2件の受任をし、後見業務を開始しました。

訪問介護事業については、予防給付が総合事業に移行したことで減収となりましたが、訪問入浴介護事業の利用者が増加したことで、ヘルパーステーションとしては増収となりました。しかし、デイサービス事業は利用者の入院等による減収で、介護保険事業全体としては、前年と比較すると減収という結果となりました。

障害福祉サービス事業については、訪問によるサービス及びふれあい福祉センターにおける生活介護事業、児童発達支援等事業が前年と比較すると新規利用者が増加したことで、事業全体としては大幅な増収に繋がりました。

最後に、法人全体としては、障害福祉サービス事業の増収により黒字決算となりました。今後も、介護サービスを必要とする利用者のニーズに応える事業展開をすることで、自主財源の確保に努め、併せて、本年度荒尾市と一体的に策定した地域福祉活動計画に沿って、市民の皆様が住みなれた地域で安心して暮らせるように地域福祉の充実を図ってまいります。

以下、各事業の実施状況について報告いたします。

地域福祉部門

【地域福祉事業】

（1）第3期地域福祉活動計画の策定

地域福祉活動計画を策定しました。第3期より荒尾市が策定する、地域福祉計画と同一冊子にして策定しました。これからの5年間では地域のささえあいがますます重要であると考えられますので、地域における取り組みをさらに充実させていくことを中心にして様々な地域福祉の取り組みを盛り込みました。

(2) ささえあい活動推進地区

地域住民の皆さんが地域の課題に関心を持ち自ら考え、主体となって課題解決に取り組んでいただけるように地域の実情に応じた取り組みを進めています。29年度は7つのメニューをご用意して取り組みやすい環境を整えました。

1、高齢者いきいきサロン事業

29年度も順調に増加をしました。29年度末では52ヶ所で設置が進み、行政区カバー率も50パーセントを超えました。これからも地域の集いの場として重点的に取り組みを進め、すべての公民館で実施されるよう、今後も推進を図っていきます。

サロン開設状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施箇所数	37	43	48	52
開設延日数	566	642	642	705
参加人員	12,334	13,040	13,373	14,413

2、買い物支援事業

29年度は実施箇所数も着実に伸びてきて12ヶ所で取り組みを始めていただきました。現在は公民館での販売会を中心に実施していただいています。販売会の開催だけにとどまらず、スーパーと連携した独自の買い物支援に取り組む地区も出てきており、徐々にではありますが、高齢者のニーズに合わせた買い物支援の取り組みに形態を変えて実施していただけるようになりました。

買い物支援実施状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施箇所数	4	5	7	12
実施回数	42	66	97	176
購入者数	-	839	870	1,417
支援者数	-	419	302	408

3、日常生活支援

少しずつではありますが実施数が増加しています。29年度は5ヶ所で申し込みいただきました。既に実施している地区では取り組みが進み、高齢者の様々な困りごとに対応していただけるようになりました。今後も実施地区数が増加するよう、地域に向いて丁寧に説明を実施していきます。

日常生活支援実施状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施箇所数	1	3	3	5
実施回数	0	32	142	91

支援内容別実施状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
草刈り、剪定	-	11	20	27
家屋修繕	-	3	3	3
買物	-	3	25	10
ゴミ出し	-	7	26	44
照明器具交換	-	2	5	0
その他	-	6	63	7
合計	-	32	142	91

4、地域住民による見守り体制の整備

29年度も19ヶ所から申し込みがあり、高齢者の見守りの組織を作っていただいています。着実に実施箇所数を伸ばすことができました。

見守り活動実施状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施箇所数	8	10	12	19
延活動回数	6,045	14,333	19,404	29,713

活動分類実施状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
見守り	-	12,487	17,166	27,500
訪問	-	1,808	2,068	2,107
緊急通報	-	6	21	13
相談	-	32	149	93
合計	6,045	14,333	19,404	29,713

5、認知症徘徊見守り模擬訓練

29年度も井手川地区において認知症徘徊模擬訓練を実施しました。第3回目を迎えた今回も52名の方が声かけ訓練に参加されました。反省会でも次年度の実施に向けた改善策が出されるなど積極的な意見が聞かれました。今回は子どもたちにも事前学習会を施し、子どもたちも声掛け訓練に参加しやすい環境を整えました。他の地区でも実施の動きが出てきたため、今後も丁寧に説明を行い、2ヶ所目の実施に向けて取り組みを進め、さらには荒尾市全地区で実施できるよう、事業の推進を図っていきます。

井手川地区協議会徘徊模擬訓練

○井手川地区協議会説明（第1回）

日 時 1月21日（日）
場 所 深瀬ヶ丘公民館
内 容 徘徊訓練について説明、実施日時などの決定
参 加 20名

○第1回 実行委員会

日 時 2月11日（日）
場 所 総合福祉センター会議室
内 容 訓練の実施方法について検討
参 加 9名



△第1回実行委員会

○井手川地区協議会説明（第2回）

日 時 2月18日（日）
場 所 深瀬ヶ丘公民館
内 容 第1回実行委員会での決定事項の報告
参 加 15名



△子供向け事前学習会

○第2回 実行委員会

日 時 3月11日（日）
場 所 総合福祉センター会議室
内 容 当日の訓練の流れと各担当について
参 加 12名

○子供向け事前学習会

日 時 3月11日（日）18時
場 所 古庄原公民館
内 容 認知症とはどんな病気
参 加 13名



△声掛け訓練

○事前学習会

日 時 3月11日（日）19時
場 所 古庄原公民館
内 容 認知症の方への対応方法
参 加 60名

○訓練の実施

日 時 3月18日（日）
場 所 井手川地区一帯
内 容 情報伝達訓練、声かけ訓練、反省会
参 加 声掛け訓練 52名
反省会 36名



△反省会

6、子ども、子育てサロン

29年度新たに1ヶ所取り組みを始めていただきました。長期休暇期間中に子どもを預かる形態や子育て中の親の集いの場として取り込まれる形態など、取り組みを行っていただいている地区はそれぞれ、地域の実情に合わせて、様々な形態で取り組んでいただいています。子ども会などがなくなってきている地域の実情を踏まえると、重点的に進めていく必要性があると考えています。

子ども、子育てサロン実施状況

	28年度	29年度
実施地区数	2ヶ所	3ヶ所
実施回数	9回	18回



△向一部区の様子

7、移送支援

社協所有の乗用車を地域の移送支援の活動に活用していただきました。周知不足もあり、利用件数は伸びませんでした。しかし、地域の生活課題としては移送に係る問題が最も多い状況であるため、潜在的にニーズは非常に高いと考えています。継続して地域に周知を図り、利用の促進に努めていきます。また、新たなささえあい活動のメニューとして30年度より買い物ツアーを導入しますので、そちらのメニューと併せて活用いただきたいと思います。

貸出件数 2件

(3) 介護予防・生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）

28年度より荒尾市より受託して2年目を迎え、以下に示すように、多くの事業に取り組んできました。29年度からは生活支援ボランティア事業を立ち上げ、高齢者の在宅生活におけるちょっとした困りごとをボランティアの支援による解決を図ってきました。今後も地域包括ケアシステムの構築に向け取り組みを進めていきます。

1、地域資源、社会資源の立ち上げ

○ささえあい活動の拡充

サロン 5ヶ所
買い物支援 5ヶ所
見守り活動 7ヶ所
日常生活支援 2か所

○ささえあい活動立ち上げ説明会

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施回数	22	39	147	58

○生活支援ボランティア事業

開 始 平成29年8月1日

内 容 高齢者の在宅生活での困りごとをボランティアの支援により解決を図る
(ゴミ出し、照明器具の交換、季節ものの出し入れ、家屋修繕など)

依 頼 43件

○生活支援ボランティアグループ

設 立 2グループ

2、地域活動の支援

○ささえあい活動交流会

期 日 3月20日

内 容 講座「サロン実施に向けたレクリエーションの紹介、指導」
説明 30年度からのささえあい活動について

場 所 シティホール

参 加 49名

○ささえあい活動実施に対する支援

	26年度	27年度	28年度	29年度
支援回数	65	71	107	203

3、地域資源、社会資源調査活動

○その他集いの調査

時 期 2月より開始

○地域ニーズ調査

時 期 4月～7月

調査対象 15地区(原、唐池、大平町、中一部、市屋、山浦、北増永、万田東、東宮内、
田倉、万田西、境崎、桜山町、高浜、庄山)

調査人員 174名

○調査活動延実施回数

調査回数 102回

4、担い手の養成

○養成講座等の実施

ボランティアフォローアップ講座

期 日 5月19日

参加者 33名

生活支援ボランティア週間

期 日 6月12日～18日

依 頼 1件

対 象 井手川地区

第2回 生活支援ボランティア養成講座

期 日 9月1日～10月27日

参加者 33名

○生活支援ボランティア登録数

ボランティア登録数 113名

5、コーディネート、マッチング

○地域資源などの紹介

件数 315件

6、各種会議への参加

○熊本県コーディネーター連絡会議

期 日 1月29日

参 加 4名

内 容 事例発表「荒尾市における生活支援コーディネーターの取り組み」
グループワーク

○嘉麻市社会福祉協議会視察

期 日 2月13日

参 加 2名

内 容 第2層協議体の取り組みについて

○県北コーディネーター連絡会議

期 日 3月1日

参 加 3名

○協議体会議の実施

期 日 5月26日、7月20日、9月21日、11月16日
1月18日、3月15日

場 所 荒尾市医師会在宅ネットあらお

内 容 コーディネーター業務の報告
地域資源、社会資源の検討

○地域ケア会議出席

期 日 5月17日、7月12日、9月20日、11月15日、
1月17日、3月14日

場 所 荒尾市内各事業所

内 容 本人の支援方法の検討及びケアプランから見える地域課題について

○通所型サービスC卒業判定会議

期 日 9月6日、10月5日、11月7日、12月7日、1月5日
1月9日、2月7日、3月5日

場 所 荒尾市役所

内 容 通所型サービスC卒業後の支援の在り方について検討

○ケアプラン会議

期 日 2月21日、2月22日

場 所 荒尾市役所

内 容 ケアプランの点検及び地域資源、社会資源の活用アドバイス

7、周知啓発活動等

○在宅ネットあらかし事例検討会

期 日 4月5日

場 所 荒尾市医師会館

内 容 「荒尾市社協における生活支援の取り組みについて」発表

○通所型サービスC事業者説明会

期 日 6月5日

場 所 荒尾市役所

内 容 「C型卒業後の生活支援サービスについて」講話

○ケアマネージャー研修会

期 日 8月1日、2月23日

場 所 荒尾市役所

内 容 「生活支援コーディネーターの役割」講話
「荒尾市の地域資源、社会資源について」講話

○八代市視察受け入れ

期 日 3月2日

場 所 総合福祉センター

内 容 「荒尾市のささえあい活動について」

○多良木町視察受け入れ

期 日 3月23日

場 所 総合福祉センター

内 容 「荒尾市の生活支援コーディネーターの活動について」

(4) 福祉委員の見守り活動

29年度改選を迎え、全地区の区長などに推薦を依頼しましたが、結局、前年までの委嘱数から減少をしました。現在89名に委嘱して活動に従事していただいています。委員数の減少により延活動数も減少しており、社協と地域をつなぐパイプ役として活動に支障をきたしている状況になりつつあると言えます。不在の地域には区長などに相談をして推薦いただくようお願いに上がり、全地区で福祉委員が設置されるよう取り組みを進めていきます。

○研修などの活動

29年度総会

期 日 6月24日(金)
場 所 総合福祉センター大会議室
内 容 28年度事業報告、決算
29年度事業計画、予算
研修「特定健診と健康について」
講師 荒尾市保健センター 保健師

交流レクリエーション

期 日 11月10日(金)
場 所 総合福祉センター運動場
内 容 グランドゴルフ大会
参 加 19名参加

全体研修会

期 日 3月15日(火)
場 所 総合福祉センター大会議室
内 容 講演「生活習慣病について」
講師 荒尾市民病院 管理栄養士
参 加 62名参加

○情報提供、情報収集強化月間

10月 ・ 3月

○一斉友愛訪問 10月15日(日)
3月18日(日)

○情報提供資料の配布

- ・ 情報提供かわらばんの発行 2回
- ・ その他の情報 随時配布

○地区情報交換会

地区情報交換会開催日

7月20日(木) 荒尾地区	7月27日(木) 井手川地区
8月18日(金) 緑ヶ丘地区	8月25日(金) 万田中央地区
9月 4日(月) 桜山地区	10月 6日(金) 清里地区
10月20日(金) 府本地区	1月22日(月) 有明地区
1月26日(金) 万田地区	2月21日(水) 中央地区
2月27日(火) 平井地区	2月28日(水) 八幡地区

福祉委員活動延件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
相談件数	403	563	398	232
友愛訪問	11,209	10,640	9,676	8,111
情報提供	5,143	4,541	4,280	3,514
電話、その他	1,317	1,394	1,238	940
合計	18,072	17,138	15,592	12,797

(5) 歳末たすけあい事業

歳末に地域住民同士が交流するための活動に対し、助成を行う事業を実施しています。29年度も地域活動特別助成と年賀状送付事業助成の2事業を実施しました。

1、地域活動特別助成事業

歳末に、もちつき、正月飾りの作成などの地域交流を図る事業を実施する区に対して必要な材料費の助成を行いました。29年度も31ヶ所から申し込みがあり、地域の交流を図るきっかけとしていただくことができました。

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施数	28	32	31	31

2、年賀状送付事業助成

年賀状を一人暮らし高齢者に送付される事業を実施される区に年賀状を現物給付する事業を実施しています。29年度についても例年と概ね変わらない申し込みがありました。歳末たすけあいの取り組みとして今後も継続していきます。

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施数	16	19	16	18
給付枚数	278	318	278	344

(6) 地域介護予防支援事業

29年度も、市内の公民館に出向いて体操の指導を実施しました。24年度から実施している地区が8カ所あり、6年間の継続実施を記念して、それぞれの区の替え歌を作り、お渡ししました。今後も自主活動を継続していただけるよう工夫しながら支援を行っていきます。

また、有明地域リハビリテーション広域支援センターの理学療法士と連携し、社協が支援をしている35地区の中から3地区を選定し、体力測定結果発表会を実施しました。熊本県と荒尾市の体力測定の数値を比較、提示し、貯筋体操を実施している地区の数値が、実施していない地区に比べて、いかに高いかを利用者にお伝えし、体操を継続してもらうためのモチベーションアップにも取り組みました。

○重点的に取り組んだ内容

- ①リズム体操
- ②自主運営の継続に繋がるフォロー
- ③利用者個人に対する発言の場づくり
- ④腹式呼吸を用いた歌のトレーニング
- ⑤リハビリテーション広域支援センターとの連携による啓発活動

○地域介護予防継続啓発活動

地区名 上井手下
期 日 2月14日(水)
場 所 上井手下公民館
人 数 10名

地区名 東宮内
期 日 3月8日(木)
場 所 東宮内公民館
人 数 15名

地区名 新町
期 日 3月14日(水)
場 所 新町公民館
人 数 13名

公民館へ指導者の派遣実績

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施地区	22	30	35	35
実施回数	560	586	682	631
延参加者数	6,648	7,377	8,231	7,068
延職員派遣数	1,134	1,181	1,384	1,227



△貯筋体操指導の様子



△揚増永修了式

○はつらつ貯筋教室

公民館がない地域にお住まいの方に向け、毎週月曜日の午前に、総合福祉センター大会議室で貯筋体操教室を実施しました。開始から4年が経ち、支援が長期化してきたことから、地域で実施している貯筋体操教室との平等化を図り30年度より自主活動に移行する予定となっています。自主活動に移行していただいた後は、新たに2期生の募集を行い、地域に公民館のない方達に向けて介護予防の支援を行っていきたいと考えています。

はつらつ貯筋教室実施状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
実施回数	43	43	46	44
延参加者数	289	805	754	624
延職員派遣数	88	88	93	87
登録者数	18	32	39	41

○通所型サービスC

総合事業通所型サービスCの受託を申し出ました。この事業は要支援者等に対し、6カ月の短期集中プログラムによって機能訓練を実施し、在宅生活が可能となるような体力づくりを目指す内容となっています。29年度は荒尾市から参加者の紹介がなく、実施には至りませんでした。利用者の獲得のためには卒業後の受け皿が必要であると考えられることから、30年度からは新たに卒業教室を設け、参加しやすい環境を整え、利用者確保していきたいと考えています。

(7) 地域活動備品貸出事業

ささえあい活動を実施する区に対し、備品等を貸し出し活動に対する支援を行いました。最近では遊具やプロジェクター、スクリーンなどサロンで活用する備品の貸出が増えてきました。

備品貸出件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
大鍋			41	29
中鍋			9	13
鍋	47	50	9	2
炊き出し釜	11	13	16	11
調理器具	66	81	52	34
炊飯器	6	6	7	2
ガスコンロ		8	15	12
電源ドラム		3	3	2
テント		3		0
机		23	69	47
パイプ椅子	110	135	100	59
スクリーン			26	22
プロジェクター	18	14	24	26
マイクセット	8	7	22	26
グランドゴルフセット	214	30	18	9
ブルーシート		1	2	0
アイマスク		17		0
遊具	40	40	68	71
高齢者疑似体験セット	40	30	43	41
車いす	34	30	33	36
乗用車（8人乗り）			1	2
DVD			5	5

【ボランティアセンター事業】

(1) ボランティアコーディネート

市内福祉施設や地域活動支援としてボランティアコーディネートを実施しました。平成29年度は全154件のコーディネートを行い、依頼件数が154件、実施件数が71件となりました。内容は演芸ボランティアが主であり、ギター演奏、三味線演奏、フラダンスなど地域の高齢者が親しみやすい内容で依頼が多くありました。サロンの設置数が増えたことが要因と考えられます。また、地域間での情報共有がなされており、サロンメニューの選択肢としてボランティアが挙げられることが増えたことも一因と考えられます。

ボランティアコーディネート数

	26年度	27年度	28年度	29年度
コーディネート件数	110	139	116	154

(2) 災害ボランティアセンター設置訓練

平成29年度は緑ヶ丘小学校にて合同避難訓練を行いました。例年通り社協では、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施して、今年度よりニーズ班の訓練を行いました。ニーズ班は実際に被災された方がセンターにボランティアを依頼してもらい、職員が受付をしてニーズ票を起こす訓練となります。また、消防による被災者救出訓練や避難所運営訓練などを一か所で同時に行いました。

平成28年に発生した熊本地震での災害ボランティアセンター後方支援を行ったことを受け、荒尾市でも実際のセンター運営に近い内容の訓練を実施するため協議・検討した結果、平成29年度よりニーズ班の訓練を実施しました。実際に被災された方がセンターに来所されボランティアを依頼されるという設定で対応しました。

- 防災会議 9月7日(木) 14:00～
- 10月5日(木) 14:00～
- 11月2日(木) 14:00～

○災害ボランティアセンター設置訓練

- 開催日 11月19日(日)
- 会場 緑ヶ丘小学校
- 内容 災害ボランティアセンターの設置及び運営の訓練
- 参加者 76名(ボラ連会員、高校生、一般参加)

(3) 災害ボランティアの養成

平成29年度に新規事業として災害ボランティア養成講座を実施しました。

災害発生時の避難所の運営や災害ボランティアセンター設置に伴う後方支援など、地域主体で災害対応をしてもらうときに主となって活動していただけるボランティアを養成することを目的としました。自主防災組織や地域住民に呼びかけをして防災への啓発を行いました。今回の講座ではクロスロードという災害対応のカードゲームを体験してもらいました。

○防災ボランティア養成講座

期 日 3月27日(火) 13:30~
場 所 あらおシティモール
参加者 27名(自主防災組織員、地域住民)
内 容 クロスロード(災害対応カードゲーム)



△クロスロード実施の様子

(4) 生活支援ボランティア養成講座

第2回生活支援ボランティア養成講座を実施しました。平成29年度より生活支援ボランティアサービスを行うにあたり、活動を行ううえで必要な知識の習得についての講座を実施しました。市民病院や市役所の施設を紹介する講座や、前年度の講座で要望が多かった高齢者との話し方講座、高齢者の生活支援に係るグループワークも行いました。今回の講座では33名の方に受講いただき、新規に4名のボランティアに登録いただきました。

○生活支援ボランティアフォローアップ講座

期 日 5月19日(金)
場 所 荒尾市医師会
参加者 32名(生活支援ボランティア登録者)
内 容 NPO法人ぽっかぽかすずかけ
(合志市)の活動紹介

○生活支援ボランティア週間

期 日 6月12日(月)~6月18日(日)
場 所 井手川地区
参加者 依頼者1名
内 容 実施に向けてを行う

○第2回生活支援ボランティア養成講座

期 日 9月1日(金)~10月28日(金)
場 所 荒尾市医師会会議室
参加者 33名
内 容 生活支援ボランティアの養成



△高齢者との話し方講座の様子

生活支援ボランティア養成講座内容

開催日	演題	講師
9月 1日	・付添いボランティア (市役所編、市民病院編)	荒尾市役所 総務課 岩下和隆氏 荒尾市民病院 総務課 永井和則氏
9月16日	・認知症を学び、地域で支えよう ・運動を通じた介護予防の効果	荒尾市地域包括センター 岩本理歌子氏 有明成仁病院 北尾昌平氏
9月30日	・高齢者向け楽しい会話術	メンタルコーチ 平野いずみ氏
10月14日	・口腔ケアについて ・ケアマネージャーの役割と ボランティア	山本歯科医院 山本宏氏 新生翠病院 小阪勝己氏
10月28日	・地域とボランティアについて 考えてみよう	荒尾市社会福祉協議会 生活支援コーディネーター

(5) 手話・点字・朗読ボランティア養成講座

手話点字朗読の情報保障に係るボランティアの養成講座を実施しました。点字と朗読講座の受講者はそれぞれ1名の方に受講いただき修了することができました。

養成講座開設状況

	28年度			29年度		
	日数	人員	修了	日数	人員	修了
手話(上級)	43	338		43	327	
手話(中級)	43	143		43	71	
点字	25	25	1	25	25	1
朗読	12	34	3	10	10	1

(6) 生活支援ボランティア制度(住民参加型在宅福祉サービス)

平成29年8月より生活支援ボランティア事業を開始しました。荒尾市在住の高齢者を対象に、日常生活のちょっとした困りごとに対して支援する事業です。昨年度より養成講座を実施してボランティアの登録者を募り、今年度の実施に向けた事前準備で生活支援ボランティア週間の取り組みやフォローアップ講座を行い実動に向けた準備活動を進めました。

本サービスではゴミ出しや電球交換など、簡単な内容だが高齢者には少し難しい「ちょっとした困りごと」を支援しています。29年度は8月より開始して、相談74件、実施43件という結果になりました。

○依頼項目

ゴミ出し（日常ゴミ）、ゴミ出し（リサイクル）、電球交換、布団干し、手紙等代筆、冷暖房器具（季節物）の出し入れ、通院付添い、行政関係付添い、家屋修繕（簡易なもののみ）

○コーディネート件数

相談件数	実施件数
74件	43件



△生活支援ボランティア活動の様子

(7) 福祉教育の支援

平成29年度は福祉体験学習を2件行いました。中央小学校と第四中学校を対象に身体障がい者及び高齢者体験を実施しました。中央小学校では総合的な学習で車いす体験学習、第四中学校では文化祭での発表のため車いす体験及び高齢者疑似体験学習をそれぞれ実施しました。障がい者及び高齢者に対する接し方を学習することで、福祉に対する興味・関心を深めることができました。

○車いす体験学習への職員派遣

日時 7月7日（金）
場所 中央小学校
参加 4年生（3クラス：計92名）
内容 車いすの使用方法について



△四中の車いす体験学習の様子

○福祉体験学習での職員派遣

日時 9月26日（火）
場所 荒尾市第四中学校
参加 3年生（36名）
内容 高齢者疑似体験、車いすの使い方について

○福祉体験学習用具の貸出

6月22日	一般利用	高齢者疑似体験セット	(2組)
9月26日	第四中学校	高齢者疑似体験セット	(4組)
10月18日	有明小学校	高齢者疑似体験セット	(4組)
10月19日	和水町社協	高齢者疑似体験セット簡易版	(7組)
10月20日	中央小学校	高齢者疑似体験セット	(4組)、簡易版(7組)
11月16日	南関町社協	高齢者疑似体験セット	(4組)

(8) ワークキャンプ

荒尾市内の中高生を対象に夏季休暇期間中に福祉体験学習を行うワークキャンプを実施しました。29年度は中学校3校、高校1校、計4校の学生を対象に福祉施設、障がい者施設、地域サロン、学童保育で1日体験学習を行いました。

生徒の福祉に対する意識向上及びボランティアに対する興味や関心を引き出し、福祉に接する機会を設けました。

29年度から荒尾市内の全中学校から参加いただき、昨年より多い、38名の生徒が体験をすることができました。第三中学校では、志望先の高校及び将来の就職先に福祉分野を目指している生徒が多く、自分の将来を見据えて参加した学生が多くいた事が参加者の増加の要因としてあげられます。

○実施学校	荒尾海陽中	5名
	荒尾第三中	8名
	荒尾第四中	14名
	有明高校	11名

○実施場所及び参加状況

7月24日(月)	せいわあらおの里	荒三中	3名
7月25日(火)	オレンジヒル小岱	荒四中	6名
7月26日(水)	オレンジヒル小岱	荒四中	8名
7月27日(木)	本村サロン	海陽中	2名
7月28日(金)	デイサービスあおば	有明高	4名
7月31日(月)	学童保育あおば	有明高	3名
8月 2日(水)	にこにこわがんせ	海陽中	3名
8月 3日(木)	わだち製作所	荒三中	2名
8月 4日(金)	ふれあい福祉センター	有明高	2名
8月 9日(水)	ケアポート緑ヶ丘	荒三中	3名
8月10日(木)	わがんせ	有明高	2名

計38名



△有明高校の様子(あおば)



△四中の様子(オレンジヒル小岱)

(9) 情報誌の発行

ボランティアに関する情報を発信する「ボランティア情報」を発行し、地域住民に対してボランティアの啓発やイベント等の周知を行いました。市内で開催するボランティア関係の養成講座や団体活動の紹介、地域住民に対しボランティア参加への呼びかけ等を行いました。

○発行月 5月、8月、11月、2月

○発行形態 班回覧

(10) ボランティア連絡協議会の運営

荒尾市ボランティア連絡協議会では市民へのボランティア啓発及び団体間の情報交換の場として活動をしています。市内の福祉関係イベントへの参加(健康福祉まつり、防災訓練など)や啓発イベントの開催など地域に向けたボランティアの啓発活動を行っています。

また、近隣市町のボランティア連絡協議会との交流を目的とした荒尾・玉名ブロックボランティア連絡協議会の活動にも参加しています。

○ボランティア連絡協議会総会

期 日 5月13日(土)

場 所 荒尾市総合福祉センター

内 容 28年度事業報告

29年度事業計画

講演:「熊本地震での経験～私たちの身近な防災～」

講師:一般社団法人夢・理想の里 原建史 氏

○ボランティアやってみようフェア

期 日 11月23日(祝・木)

場 所 あらおシティモール1階 出合いの広場

内 容 ボランティアの啓発活動

- ・各団体のボランティア体験コーナー(10団体)
- ・朗読サークル、手話サークルによるコラボパフォーマンス
- ・スタンプラリーの実施(体験コーナー、活動紹介コーナー)

※その他参加行事

荒尾市健康福祉まつり、身障連いきいきフェア、赤い羽根共同募金街頭募金、荒尾市防災訓練(災害ボランティアセンター設置運営訓練)、荒玉ボラ連総会、荒玉ボラ連新年交流会

(11) ボランティア保険事務

ボランティア保険事務を実施しました。29年度は朝倉市の災害ボランティア保険加入があり、天災プラン加入が例年より増加しました。また、行事用保険では例年総会やイベントで加入する団体が多く昨年より増加しております。

ボランティア保険加入状況

	27年度		28年度		29年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
活動保険	44	458	160	689	81	607
行事務用保険	14	935	16	1,222	18	1,912

【総合生活支援事業】

(1) 成年後見制度法人後見事業

29年度より荒尾市が申し立てをした方、2ケースを受任しました。受任に際しては法人後見運営委員会を開き、専門職から受任に対しての意見やアドバイスなどをいただき、社協で受任することが適当なのかを判断いただきながら事業を進めてきました。今後も荒尾市と連携を図りながら首長申立のケースを中心に受任をしていこうと考えています。また、今後、受任ケースが増加してくることが見込まれますので、権利擁護事業と同様に職員体制を整える必要があると考えています。

○受任状況

件数 2件

内訳 後見類型 1件 9月23日審判確定

保佐類型 1件 10月11日審判確定

○法人後見運営委員会の開催状況

法人後見運営委員会

期日 8月28日、9月11日

場所 総合福祉センター

内容 委嘱状の交付、事業説明、後見受任についての審議

○研修などの活動

成年後見制度意見交換会

期日 12月12日

場所 山鹿市

内容 成年後見制度の利用促進について、意見交換他

(2) 地域福祉権利擁護事業

契約件数も増加して、訪問件数、電話対応件数も増加する傾向にあり、さらに困難ケースも多く契約していることから、日々の相談対応も増加し、現在の職員体制で対応するには限界に近付いてきている状況となりつつあります。現在も契約を待っていただいている方も数名あることから、今後は体制を整える必要があると考えています。29年度は生活支援員を新たに1名、お願いすることができ、少しではありますが、体制を整えることができました。今後も引き続き、生活支援員へのなり手を探しつつ、体制を整えながら契約件数を増やす方針で事業を進めていきます。

地域福祉権利擁護事業実績

	26年度	27年度	28年度	29年度
訪問件数	557	599	754	788
新規契約件数	3	5	9	8
解約件数	4	3	7	6
年度末契約件数	15	17	19	21

(3) フードバンク事業

29年度より事業を開始し、生活に困っている方に食材を提供し、緊急的な食料支援を行うことができました。28年度にカープスより食材の寄付を受けて事業を継続してきましたが、年の途中で食材がなくなったことから、29年度は食材を募集する活動も実施しました。ささえあい活動を実施している地区を中心に不要となった食材の寄付をお願いして食材の収集活動も行い、事業を継続的に実施しました。

	28年度	29年度
提供人数	8	23
提供品目数	155	360

(4) 子ども食堂実施のための検討

地域、学校、市、その他団体に対し子ども食堂の支援が必要かどうか1年をかけて、ニーズの聞き取りを行ってきた結果、事業として必要であるという判断となりましたので、30年度実施に移していくこととしました。ニーズが最もあると考えられる桜山地区で取り組みを進めていくことが決定しました。今後は食生活改善推進員や岱志高校家庭科クラブなどからの協力を受けながら、また、社協で実施しているフードバンク事業と連動しながら、地域で実施できるよう、支援していきます。

○実施に向けた関係者との打ち合わせ

期 日 12月4日

場 所 総合福祉センター

参加者 荒尾市、社協、桜山地区協議会、岱志高校家庭科クラブ

(5) 生活福祉資金、生活資金

生活福祉資金については近年、不動産を担保とする生活費の貸付（リバースモーゲージ）の相談が増加しました。また、生活費の緊急貸付である生活資金については減少しました。

好景気が続いていることによる、就業率の上昇等が主な原因ではないかと推測されます。

生活福祉資金 貸付相談・償還指導等件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
貸付相談対応	335	365	183	248
償還指導	308	197	97	160
申請決定数	4	4	4	6

生活資金 相談・貸付件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
相談者数	54	44	58	68
相談延件数	183	197	291	101
貸付件数	35	32	30	14

(6) 訪問美容サービス事業

訪問美容サービス事業実績

	26年度	27年度	28年度	29年度
事業所	170	157	164	128
利用者	767	841	819	686

(7) 心配ごと相談事業

例年と同等の水準の相談件数となりました。なかなか相談件数が増加しないことから、社協だよりに心配ごと相談の記事を掲載して周知を図り、相談者の増加を図っていきます。

○相談者数 10名

相談処理状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
解決	3	8	6	4
再来	0	0	0	0
民生委員	0	0	0	0
他機関	0	1	0	1
その他	2	0	3	5
合計	5	9	9	10

在宅生活支援サービス部門

【ヘルパーステーション】

(1) 訪問介護事業

介護や支援が必要な利用者宅において、利用者の自立支援や重度化防止をめざし可能な限り、在宅でその人らしい生活を送れるようサービスの提供を行いました。また、介護支援専門員等各関係機関との連携を密に行い 信頼関係の構築に努めました。

平成 29 年度は、介護予防訪問介護から介護予防・日常生活支援総合事業への移行もあり市開催の説明会に参加し、スムーズに移行することができました。利用者数については前年度とほぼ変わらず、訪問回数の減少については 主に週 20 時間訪問しておりました利用者の入院によるものです。

○外部研修

- 4月15、16日 サービス提供責任者セミナー
- 5月20日 県ホームヘルパー前期研修会
- 7月15日 主任ヘルパー情報交換会
- 11月 6日 県ホームヘルパー協セミナー意見交換会
- 11月18日 県ホームヘルパー協後期研修会
- 12月19日 筋委縮性側索硬化症（ALS）患者家族、支援者の交流会
- 1月21日 主任ヘルパー情報交換会
- 1月23、24日 職場リーダーの「伝える力」向上研修会

訪問介護事業利用延件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者数	1,103	1,132	1,063	1,059
訪問回数	13,760	12,365	11,983	10,851



△救命救急講習の様子



△月例会の様子

(2) 訪問入浴事業

利用者の個々の身体状況に応じ、迅速に安心して入浴出来るように努めました。前年度より取り組んでいる入浴に必要な物品提供の他、入浴剤の使用や季節の入浴（しょうぶ湯）を楽しんでいただきました。

利用者数、訪問回数の増加については 新規獲得によるものです。（新規利用者 8 名）介護

支援専門員や利用者の主治医とも連携を取りながら介護事故等の発生防止に努めました。
また、毎月1回の研修会、年1回の外部研修への参加をしました。

○外部研修

5月27日 入浴福祉レベルアップセミナー

訪問入浴介護事業利用延件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
利用者数	155	145	135	156
訪問件数	640	623	598	754

(3) 居宅介護支援事業

在宅の要介護者等が介護保険から給付される居宅サービス等を適切に利用できるよう要介護者等の依頼を受けて利用するサービスの種類・内容を定めた居宅サービスの作成、利用したいサービス事業所との連絡調整や介護保険施設への紹介等のケアマネジメントを行っています。

また、利用者様のいつまでも自宅で暮らしていきたいとの希望を叶えるため可能な限り日常生活を営むことができるよう相談・調整に努めています。

○外部研修への参加

研修参加にて地域医療と行政、介護など多職種間の連携を構築させるため研修会に積極的に参加し、ケアマネージャーとしての資質向上を図りました。

荒尾市在宅医療事例検討会への参加

- 4月5日 生活ボランティア養成講座について
- 7月12日 消防署との連携
- 1月17日 精神科医療の理解
- 2月7日 警察署との連携



△ケアマネージャー相談の様子

荒尾市認知症キャラバンメイトの集い開催参加

ほのぼの老人懇談会総会及び研修参加

10月10日 認知症の方を支える家族支援

地域ケア会議参加

- 2月19日 自立支援ケアマネジメントに向けた地域ケア会議について
- 2月26日 主任ケアマネの集い

居宅介護支援事業利用延件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
居宅介護支援	760	718	836	905
介護予防支援	310	297	166	66
合計	1,070	1,015	1,002	971

(4) 介護保険対象外ホームヘルプ事業（ヘルパーステーション）

介護保険以外のサービスで自立の方や、介護保険の認定を取得しながらも入院等により介護保険が使えなくなった方などに対しサービスを提供しました。

利用者数の減少については、ヘルパーの人材不足で新規申し込みを受け入れることができなかったことが原因と考えています。しかし、緊急を要するケースや対応困難なケースについては迅速に対応しサービスの提供を行いました。

介護保険対象外ホームヘルプ事業利用延件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
上乗せサービス	4	3	14	14
横だしサービス	72	96	73	56

(5) 居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業

利用者宅において 介護計画に基づきサービスの提供を行いました。相談支援専門員との密な情報交換や利用者やその家族の要望に迅速かつ丁寧に対応し信頼をいただいています。

居宅介護は4名、同行援護は2名の新規利用者があり 利用回数も増加しました。重度訪問介護は利用者1名で変わりありませんが、65歳を期に介護保険へ一部移行された為の減となっています。

ヘルパーの資質向上の一環として毎月全員参加での研修会、年数回の外部研修への参加しました。また、同行援護については新たに2名のヘルパーが資格取得しました。

居宅介護・重度訪問介護・同行援護事業利用延件数

	26年度	27年度	28年度		29年度	
	件数	件数	件数	訪問回数	件数	訪問回数
居宅介護	198	195	197	3,485	250	3,734
重度訪問介護	12	12	12	1,012	12	782
同行援護	51	65	60	331	71	434

(6) 地域生活支援事業（ヘルパーステーション）

移動支援事業は2名が利用されています。主に美容室への移動の支援をしました。障がい者訪問入浴は前年同様1名の方に利用いただきました。

移動支援・障がい者訪問入浴事業利用延件数

	26年度	27年度	28年度	29年度
移動支援事業	11	12	6	5
障がい者訪問入浴	47	53	52	52

【交流拠点あおば】

(1) デイサービス事業

利用者の個別の嗜好や能力に応じたレクリエーションの提供に心掛け、特に高齢による手指力の低下が見られる利用者が多くなったことから、機能の維持や低下防止に力を入れた訓練やレクリエーションを提供しました。

29年度は特養等への入所等による利用中止はなかったものの、入院や死去が多く、6月の利用者延べ人数が166名に対し、1月は半数の80名となりました。

事業の内容に関しては他所にない、小規模ならではの職員配置を生かし、施設外への機能訓練の機会を増やしました。又、体操教室や地域サロン・福祉給食利用者や市内の居宅事業所に認知症カフェの周知を行う時にデイサービスのチラシを配布するなどして周知を徹底しました。

○職員ミーティング・職員研修 毎月実施

○施設外機能訓練（レクリエーション含む）

- 5、11月 大島バラ園見学
- 7月 買い物訓練
- 9月 こくんぞさん祭り
- 10月 コスモス見学・外食（鹿本・七城）
- 3月 宮崎兄弟生家へ花見

○交流

- 土曜／週 学童児との交流ゲーム
- 1回／月 ふれあい福祉センターひまわり作業所との交流
- 12月 交流拠点あおば年忘れ会

○製作・レクリエーション等

- ・大型展示物（こいのぼり、朝顔のテラス、クリスマスツリー、トトロ）
- ・調理（押し寿司、フルーツゼリー、茶巾絞り、月見団子、切り干し大根等）
- ・個別製作（ランチョンマット、うちわ、暑中見舞い、写真立て、雛飾り等）
- ・そうめん流し、運動会、革製品作り等

○職員外部研修

荒尾市高齢者虐待防止推進基礎研修会

- 期 日 8月 8日（火）
- 場 所 荒尾市役所
- 参加者 1名
- 内 容 高齢者虐待防止の基本

アンガーマネジメント研修

- 期 日 8月30日（水）
- 場 所 KKRホテル熊本
- 参加者 1名
- 内 容 現場や職場で生じる怒りの感情と上手に付き合う方法を学ぶ

リスクマネジメント研修

期 日 10月24日(火) 25日(水)
場 所 熊本総合福祉センター
参加者 1名
内 容 ヒヤリハット、事故報告書、分析・対策立案手法の習得

福祉職員レクリエーション研修

期 日 10月31日(水)
場 所 フードパル熊本
参加者 1名
内 容 現場で活用できる福祉レクリエーション技術の習得

福祉職場OJT推進研修

期 日 12月12日(火) 13日(水)
場 所 熊本総合福祉センター
参加者 1名
内 容 職場のビジョンの沿ったOJT計画書の立案と研修の体制の構築

職場リーダーの「伝える力」向上研修

期 日 1月23日(火) 24日(水)
場 所 熊本総合福祉センター
参加者 1名
内 容 リーダーのコミュニケーション、プレゼンテーション技法

デイサービス事業延利用者数

	26年度	27年度	28年度	29年度
開所日数	306	306	303	303
延べ利用者数	1,913	1,836	1,755	1,570
一日平均	6.25	6.00	5.79	5.18

(2) 認知症カフェ

29年6月から開所しました。認知症の勉強だけでなく、脳トレや認知症予防ゲーム、調理や製作を交えながら、様々な情報交換の場所となっています。時にはカフェで提供した活動を地域のサロン等に広げたり、老人会の活動としてカフェに参加されたりと、少しずつではありますが地域に根を張りつつあります。

歯科衛生士を招いての口腔機能の低下防止や、地域包括支援センターからは認知症施策の取組等の講話をしていただきました。

認知症カフェ開催状況

	29年度
開所日数	38
延べ利用人数	340

(3) 学童保育

29年度は長期休暇期間における職員体制を整備することや利用児童の細かい調整を図り、最大限の児童を受け入れることで、待機児童を出さない運営に努めました。年度当初、通常保育時は45名、夏休みは57名と最大数の児童を受け入れましたが、年度末には家庭での留守番の練習による退会や長期休暇終了後に利用の区分変更をされる家庭が非常に多くありました。しかし、登録児童数としては年間を通して計画どおりの利用数で推移し、収入減とはなりませんでした。

○イベント等の実施状況

定例行事 誕生会、デイ利用者との交流、食育、製作、施設外行事

長期休暇 クッキング（冷やしうどん・団子汁・マイ弁当等）
ミニ映画鑑賞
泥遊び・水風船遊び・ボディーペインティング
外食会（夏：すたみな太郎、春：ヴェルデ）映画鑑賞（イオン）
年忘れ会

イベント 交流拠点あおば年忘れ会

○研修等の実施状況

発達に問題のある子どもへの接し方

期 日 6月12日
場 所 カンガルー保育園
参加者 6名
内 容 障がいに応じた対応

熊本県放課後児童支援員認定資格研修

期 日 9月9日、10日、23日、24日
場 所 熊本保健科学大学
参加者 1名
内 容 放課後児童クラブの支援員としての知識・技能の習得

救命救急入門

期 日 10月30日
場 所 中央学童クラブ
参加者 6名
内 容 救命蘇生法

気になる学童児への対応

期 日 11月29日
場 所 玉名文化センター
参加者 2名
内 容 有明地域療育センター概要・支援の方法

○会議の開催状況

学童クラブ代表者会 5月、6月、9月、12月、2月

荒尾市子ども・子育て会議 8月、10月、12月

荒尾市放課後子どもプラン運営委員会 10月

学童保育事業利用状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
開設日数	291	291	291	292
通常登録児童数	44	47	42	44
長期休暇登録児童数	15	12	12	13
延べ利用者数	—	9,396	9,190	8,507

【ふれあい福祉センター】

(1) 福祉給食事業

ひとり暮らしや高齢者世帯など、食事の買い物や調理が困難な方に対して、栄養のバランスのとれた食事を訪問により提供する事で、安否の確認と孤独感の解消等を図り、在宅で自立した生活を支援する配食サービスを行いました。四季折々の、旬の食材を取り入れ、季節感のある食事作りを心掛けてきました。

配食数について、29年度後半は、新規者の申請が減少したため、配食数は573食減の66,137食となりました。

配達時に利用者と交わした会話や表情、様子等について配食担当者間でこまめに情報交換及び、共有するよう努めました。配達時に自宅内で亡くなっていたことや配達時に不在で安否確認が取れなかったことが数件ありましたが、全て緊急連絡先や関係機関等への確認により適切な対応ができました。

○研修等の内容

給食ミーティング

期 日 毎月1回

参加者 9名（栄養士・調理師・配達員）

内 容 職員会議の報告、献立・行事食の協議

利用人員

	26年度	27年度	28年度	29年度
昼 食	1,307	1,442	1,398	1,320
夕 食	2,770	2,704	3,275	3,225
合 計	4,077	4,146	4,673	4,545
配食日数	256	258	257	256
実人員	261	267	307	261

年間配食数

	26年度	27年度	28年度	29年度
昼 食	17,326	22,580	16,783	17,162
夕 食	42,211	38,542	49,927	48,975
合 計	59,537	61,122	66,710	66,137



△手渡しを原則としています



△衛生管理を徹底しています

(2) 生活介護事業

常時介護を必要とされる、障害をお持ちのかたに対し、食事、入浴、排泄の介助を行います。また、創作的活動又は生産活動の機会も提供しています。その他、ご家族からニーズが多かった、屋外活動の時間として、元気ロードや長洲港へのウォーキング等の機会を多く取り入れることで、機能訓練の強化と社会参加の促進を図りました。

平成29年度、特に中旬から年度末にかけて送迎実施区域外の利用者を積極的に受け入れるとともに、重度障害者の受け入れも積極的に行なったことが、利用者増に繋がりました。これまで、部屋が別々であった知的と身体の利用者の一体的な日中活動と支援を行うように取り組みました。また、一体的な運用を行うことにより、同一の支援員による支援のマンネリ化の解消も図りました。

○イベント等の実施状況

宿泊体験会

期 日 8月17～18日（木～金）
場 所 ふれあい福祉センター
参加者 9名
内 容 ショートステイ体験の利用者を中心に、馴染み親しみのあるふれあい福祉センターで宿泊を体験し、自信をつける。

合同日帰り旅行

期 日 11月10日（金）
場 所 ホテルセキア
参加者 37名（生活介護利用者9名）
内 容 秋の日帰り旅行を地活・生活介護合同で実施

もちつき大会

期 日 12月15日（金）
場 所 ふれあい福祉センター
参加者 40名（地活18名）
内 容 地活・生活介護合同でのもちつき大会を行いました。地域のボランティアの手を借りながら突き上げたお餅をみんなで食べました。

臨時開所（入浴サービス提供）

期 日 12月30日（土）
場 所 ふれあい福祉センター
参加者 11名（生活介護利用者9名）
内 容 入浴サービス

ふれあいお楽しみ会

期 日 3月16日（金）
場 所 ふれあい福祉センター
参加者 38名（生活介護利用者12名）
内 容 年間のレクリエーションでの成績発表やビンゴ大会、カラオケなど利用者全員で楽しむイベント。

○研修等の実施状況

ストレスケア研修（内部研修）

期 日 7月20（木）
場 所 ふれあい福祉センター
参加者 4名
内 容 自分がどういったことにストレスを感じるのかを知る。
ストレスを感じる仕組みを知る。

有明圏域サービス管理責任者と相談支援専門員交流会（外部研修）

期 日 10月18日（水）
場 所 荒尾市役所
参加者 2名
内 容 圏域内の同職種同士の顔つなぎ及び情報交換。

リスクマネジメント研修（内部研修）

期 日 10月19日（水）
場 所 社会適応訓練室
参加者 4名
内 容 事故を減らすための取組と技法について知る。

対人援助職員研修（内部研修）

期 日 3月13日（火）
場 所 ふれあい福祉センター
参加者 21名（生活介護職員8名）
内 容 対人援助に関する普段の悩み事を事前に抽出・検討し、講師よりアドバイスをもらい、今後の支援に活かす。

ふれあい福祉センター総合訓練

期 日 3月22日（木）
場 所 ふれあい福祉センター
参加者 23名（生活介護利用者19名）
内 容 火災や災害等が発生した場合に迅速に利用者を安全な場所へ誘導できるよう訓練を行う。

生活介護事業利用状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
知的障がい	2,169	2,318	2,349	2,267
身体障がい（精神含む）	1,854	2,089	1,997	2,839
合計人数	4,023	4,407	4,346	5,106
平均人数	13.2	14.4	14.2	16.7
実施日数	304	305	304	305



△生活介護事業



△お楽しみ会の様子

(3) 地域活動支援センター

障害をお持ちの方々に、機能訓練、講座活動、社会適応訓練等の日中活動の機会を提供しています。また、必要な方へは、送迎や食事、入浴の介助も行っています。また、いろいろな障害をお持ちの方々が、障害を気にすることなく交流できる場所としてサービスを提供しています。

29年度は昨年と比べ、1日の平均利用者数が6名から4名へと減少しました。理由としては、登録者の高齢化に伴った、病気や怪我での休み、また入院や入所、他事業への移行が主なものです。最近の流れとして、若い障害者の方々は就労系の事業所へ行かれることが多いことも理由の一つに挙げられます。

平成30年度から生活介護事業の方々と生活の場を共有することになるため、レクリエーションの多様化や部屋のレイアウトの配慮を重点的に行いました。お楽しみ会のステージ背景を生活介護の利用者と共同で作成することにも取り組みました。

地域活動支援センター利用状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
男 性	1,057	945	803	517
女 性	747	639	555	409
合 計	1,804	1,584	1,358	926
平 均	7.42	6.57	5.6	3.8
実施日数	243	241	241	243

講座別延利用者数

	26年度	27年度	28年度	29年度
パソコン	194	187	51	3
生け花	62	54	51	60
書道	84	65	68	61
カラオケ	432	27	37	5
合計	826	334	207	129

(4) 児童発達支援、放課後等デイサービス

平成 27 年度、社会保障審議会障害者部会報告書（厚生労働省発）において「放課後等デイサービスなどの障害児通所支援については、発達支援を必要とする障がい児のニーズに的確に対応するため、質の向上と支援内容の適正化を図る観点から、放課後等デイサービスガイドラインの活用を徹底するとともに、発達支援等の子どもに関する支援の専門的な知識・経験を有する者の配置を求めるほか、障害児本人の発達支援のためのサービス提供を徹底するなど、制度面、運用面の見直しを行うべき」とされたことを受け、平成 29 年度 4 月にその具体的内容が通知されたことにより、ふれあいなかまでもその内容に沿い「障がい児の預かり」と「発達支援」を明確に区別できるよう、専門性の強化・向上に努めました。そのために、下記研修の実施と研修内容の現場への応用の他、通所支援の提供に必要な書類の様式変更など（記載すべき項目の追加、修正など）を通して、この事業に携わる者全員が、法律で規定された事業の目的や支援の内容、留意事項について確実に理解できるよう取り組みをすすめています。

平成 28 年度の延利用者数は 2,353 人、平成 29 年度は 2,604 人と、251 人の利用者増がありました。この増加は、9 月以前毎週土曜日に実施していた日中一時支援を廃止し、10 月より土曜日を放課後等デイサービスの実施日としたことによるものです。

○研修等の実施状況

発達支援コーチ初級講座

期 日：5 月 14 日、21 日
場 所：大牟田市 てとての広場
参加者：1 名
内 容：発達支援コーチ資格取得



個人情報の取り扱いについての研修会

期 日：9 月 20 日
場 所：和水町中央公民館
参加者：2 名
内 容：個人情報の取り扱いについて

1 歳 6 か月健診見学

期 日：10 月 25 日
場 所：荒尾市保健センター
参加者：1 名
内 容：1 歳 6 か月健診の内容と現状について



有明圏域障がい者と共に生きる支援協議会研修

期 日：11 月 14 日
場 所：たまきな荘（玉名市）
参加者：1 名
内 容：発達障害の理解について（基礎編）

荒尾市特別支援連携協議会研修

期 日：11月14日
場 所：荒尾市役所
参加者：6名
内 容：ペアレント・プログラム入門講座



福祉サービス苦情解決研修会

期 日：11月24日
場 所：植木文化ホール
参加者：1名
内 容：苦情解決体制の整備と適正な運営

熊本県障害福祉サービス等従事者基礎研修

期 日：30年1月23日
場 所：熊本県庁
参加者：1名
内 容：障害福祉サービス事業者の責務、心構え、虐待防止、支援体制づくり、法律の概要等（新任管理者向け）

ふれあい福祉センター対人援助職員研修

期 日：30年3月13日
場 所：ふれあい福祉センター
参加者：6名

児童発達支援利用状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
男 性	306	555	528	551
女 性	130	73	187	193
合 計	436	628	715	744
平 均	2.69	4.80	4.73	4.80
実施日数	162	131	151	155

放課後等デイサービス利用状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
男 性	1,348	1,372	1,429	1,459
女 性	469	336	209	401
合 計	1,817	1,708	1,638	1,860
平 均	7.45	8.20	7.65	7.78
実施日数	244	209	214	239

(5) 相談支援事業

荒尾市社協相談支援センターあゆみでは、障がい者・障がい児、家族等の相談に傾聴し、行政との連携、必要なサービスの検討を行いました。サービスの利用が必要な方へは、モニタリング、利用計画を作成しました。事業所訪問や学校訪問、病院受診時の同席等、利用者の希望により対応いたしました。障がい者の新規件数は8件で、療養介護や就労継続支援A型、生活介護の各事業所を利用されました。終了された方は4件で、65歳で介護保険に移行した方、一般就労になった方、施設入所された方等でした。

障がい児の新規件数は7件で、内5件はふれあいなかまの児童発達支援や放課後等デイサービスの利用でした。終了された方は3件で引っ越し等の要因です。相談利用者件数が87件と新規の受け入れが厳しい現状となっています。

29年度より相談支援専門員を1.5人体制でスタートし、利用者の意向に沿えるようモニタリングやアセスメントに時間を費やしました。

○研修等の実施状況

有明圏域障がい者と共に生きる支援協議会

定例会議 毎月開催

災害支援プロジェクト会議

開催日 12月27日(水)

子ども部会会議 事業所小部会

開催日 9月12日(火)、11月14日(火)

子ども部会

開催日 7月12日(水)

地域移行支援研修会

開催日 7月5日(水)

荒尾市障がい者自立支援懇談会子供部会

開催日 4月28日(金) 1月19日(金)

熊本県障がい者相談支援事業連絡協議会

県北ブロック総会・研修会

期日 5月26日(金)

場所 八千代座交流施設

参加 2名

県北ブロック総会・研修会

期日 11月13日(月)

場所 グランメッセ

参加 2名

就学学習会

期 日 6月25日(日)
場 所 ふれあい福祉センター
参 加 1名

相談支援利用者数

	26年度	27年度	28年度	29年度
計画相談支援	20	37	42	46
障害児相談支援	0	24	37	41
合 計	20	61	79	87

法人運営部門

(1) 理事会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成29年 5月31日(水)	平成28年度事業報告並びに収支決算について 荒尾市社会福祉協議会評議員の推薦について 荒尾市社会福祉協議会評議員会の開催について
第2回	平成29年 6月14日(水)	荒尾市社会福祉協議会会長、副会長及び常務理事の選任について
第3回	平成29年 7月21日(金)	経理規程の改正について 平成29年度資金収支補正予算案1号について 評議員の推薦について 評議員会の開催について
第4回	平成30年 1月19日(金)	平成29年度資金収支補正予算案2号について 評議員の推薦について 評議員会の開催について
第5回	平成30年 3月23日(金)	平成29年度資金収支補正予算案3号について 平成30年度事業計画並びに資金収支予算案について 評議員会の開催について

(2) 評議員会開催

回数	開催日	提出議案
第1回	平成29年 6月14日(水)	平成28年度事業報告並びに収支決算について 理事並びに監事の選任について 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の制定について
第2回	平成29年 7月28日(金)	平成29年度資金収支補正予算案1号について 理事の選任について
第3回	平成30年 1月26日(金)	平成29年度資金収支補正予算案2号について
第4回	平成30年 3月29日(木)	平成29年度資金収支補正予算案3号について 平成30年度事業計画並びに資金収支予算案について

(3) 監査

開催日	内 容
平成29年5月18日(木)・19日(金)	平成28年度監査

(4) 会費制度

会員加入状況

		一 般	賛 助	特 別	合 計
27年度	件数	61	430	36	527
	金額	30,500	430,000	360,000	820,500
28年度	件数	73	426	35	534
	金額	36,500	426,000	350,000	812,500
29年度	件数	32	434	37	503
	金額	16,000	434,000	370,000	820,000

(5) 香典返し及び一般寄付

寄付申込み状況

		香典返し寄付	一般寄付	合 計
27年度	件数	390	11	401
	金額	4,585,000	1,678,934	6,263,934
28年度	件数	351	12	363
	金額	4,251,000	389,992	4,640,992
29年度	件数	326	9	335
	金額	3,844,000	243,411	4,087,411

(6) 広報活動

広報紙発行状況

	発行回数	配布方法
社協だより	年6回	全戸配布
ボランティア情報	年4回	班回覧

(7) 共同募金、日赤団体事務

共募、日赤ともに各世帯の協力と予算付をされている区で1世帯当たり500円を支出が厳しくなり、減額になりました。

募金実績額

	27年度	28年度	29年度
共同募金	8,220,768円	8,213,011円	8,050,119円
日赤活動資金	6,656,797円	6,658,318円	6,607,467円

(8) 災害見舞金事業

災害見舞金支払件数

26年度		27年度		28年度		29年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
5	220,000	5	170,000	0	0	1	15,000

(9) 法外援護事業

行路困難者旅券配布状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
件数	10件	11件	10件	6件

(10) 実習生受入れ

実習別受入状況

種 別	27年度		28年度		29年度	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
社会福祉援助技術現場実習	1	23	3	69	0	0
訪問介護員養成研修(実習)	10	30	2	50	0	0

(11) 職場体験事業

利用状況

受入事業名	27年度		28年度		29年度	
	人数	延人数	人数	延人数	人数	延人数
デイサービス	1	5	1	5	0	0
生活介護事業	0	0	7	9	0	0
障がい児発達支援			1	5	0	0

(12) 総合福祉センター管理運営

利用状況

	27年度		28年度		29年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員	件数	利用人員
老人団体関係	1	20	3	60	2	50
身体障がい者関係	0	0	0	0	0	0
市役所	34	590	33	546	28	448
民生委員	104	1,399	121	1,551	82	1,051
遺族会	0	0	0	0	0	0
保護司会	6	140	9	190	13	345
社協	69	1,214	116	1,612	129	1,767
児童関係	0	0	0	0	0	0
その他	15	380	14	315	18	380
計	229	3,743	296	4,274	272	4,041

(13) ふれあい福祉センター管理運営

利用状況

	27年度		28年度		29年度	
	件数	利用人員	件数	利用人員	件数	利用人員
障がい者関係	102	602	100	652	154	1,027
ボランティア	219	1,531	198	1,333	166	1,079
民生委員	12	192	12	171	12	180
保健所	0	0	0	0	0	0
学校関係	0	0	0	0	0	0
公務	65	434	5	53	54	467
社協	21	165	14	120	7	93
地域住民	0	0	0	0	0	0
その他	31	442	36	337	26	272
計	450	3,366	365	2,666	419	3,118

(14) 潮湯管理運営

利用状況

	28年度			29年度		
	利用人員	敬老月間	計	利用人員	敬老月間	計
市内利用者	30,404	624	31,028	24,691	510	25,201
市外利用者	1,111	26	1,137	1,048	14	1,062
計	31,515	650	32,165	25,739	524	26,263

(15) 市民病院内売店事業

営業状況

	26年度	27年度	28年度	29年度
営業日数	306	307	304	306
来客数	62,980	64,293	66,428	65,322